

# 新幹事になって

東京秋工会 幹事  
**船木 整**

(昭和43年土木科卒)



## (1) はじめに

私は、平成21年に秋工本部同窓会に入会し、毎年一度送って頂く本部同窓会報を読み、東京秋工会が設置されていることを知りました。さっそく東京秋工会のホームページを参照したら、同窓会の東京支部・本部の情報や母校・秋高連・秋田県の情報等盛り沢山で、非常に懐かしく思い、古里はいいものだと感じた次第です。

この時点では未だ現役で勤務しており、時間確保が難しいので東京秋工会に入りたい気持ちは薄かったのですが、翌年定年退職し時間的に余裕ができた以降は日増しに同窓生との懇親を深めたい気持ちが強くなりました。その結果、平成23年11月に三平会長へ入会の申し込みをした次第です。

その折、三平会長よりいきなり土木科卒の幹事が少ないので幹事をやってほしいと言われ、私でも務まるかすぐには戸惑いましたが、何とか役に立てよう頑張ろうとの思いで、引き受けました。

同窓会運営の手伝いをした実績が一度もなく、幹事にふさわしくない現在の身ですが、会長始め活躍されている幹事の皆様のお力添えを受け、私なりに頑張っていきたいと思っています。

こんないきさつから、新幹事として述べる材料は殆んどありませんので、私がこの年齢まで生活してきた思い出を、かいつまんで述べたいと思いますので、何卒ご了承願います。

## (2) 古里での生活

私は、現在は秋田市に合併していますが、元は河辺郡河辺町岩見の生まれです。秋田30景の1つ岨谷峡(岩見川渓流と絶壁岩肌山のコントラストが絶賞)がある集落です。農家の6人兄弟(男3人・女3人)の末っ子に生まれ、甘やかされて育ったようです。

在学した岩見小学校は各学年1クラスしかなく、私の同級生は

27人でした。学校は私の住んでいた集落にあり、自宅から徒歩3分と非常に近く、弁当は持たずに昼は自宅へ食べに帰っていました。小学1年～4年までは女の先生に教わり、この先生とは私の長兄の嫁さんであるため、少しは通信簿でひいきがあったのではないかと皆に疑われるのが嫌でした。5年～6年までは男の先生に変わり、そういう意味では変に気を使わなくなりホッとした記憶があります。

幼少期の遊びと言えばビー玉・パチンコ(直径1cm程度の厚紙を壁にぶつけ飛距離を競う)・パッタ(メンコ)や田んぼでのテニスの軟球を使った三角ベースでの野球・鬼ごっこなどで、田舎での生活故他にやることもなく、来る日もまた来る日もその繰り返しでした。

在学した岩見三内中学校は自宅から6kmほどにあり、春から秋は自転車通勤でしたが、冬は雪のため約1時間半かけ歩いて通いました。中学3年の冬には高校受験の補習があり、学校の近くの親戚に下宿しました。

中学での授業の合間の休み時間に何人かの友達と相撲を取って遊んでいましたが、雪道を歩いて通学し足腰を鍛えたせいか、大抵の相手を負かしていました。中学3年の夏に相撲の郡大会があったおり、私の居た中学校では相撲部はなかったのですが、突然参加しようとのことで、相撲担当の先生が3年生4クラスの中から強そうな5人を選び、私もその1人として即席で組織・稽古し団体5人の中堅で出場し、仲間5人の内唯一4連勝で優勝して帰ったものでした。もっとも、河辺郡は人口が少なく中学校は5校しかないでレベルが低かったせいもあり、その後の秋田県大会では予選1回戦で全員敗退しました。その大会では、確か県北の合川中学校が優勝したと覚えています。

高校は家の経済的な理由から進学校には進めず、秋田工業高校を選びましたが、私の居た中学校4クラスから各クラス1名が秋田工業に進学希望し、電気科2名・土木科2名が入学しました。

## (3) 秋工での暮らし

自宅から秋田工業高校には春～秋にかけては無理をすれば通えたのですが、雪の積もる冬は困難なので下宿する必要があり、秋工金砂察に入りました。部屋は、い室～に室まで4部屋あり、1部屋約10名の計40名ほどが入居していたと記憶しています。2年先輩には当時私が1年生の時の3年生で、ラグビー部の細川兄弟がおられました。細川兄弟が1年生の時に全国優勝されたとのことですが、当時でも県内では敵なし、全国大会でも上位に入る強豪校でした。

細川兄弟は皆様もちろんご存知の釜石製鉄時代の全日本選手権8連覇にも貢献した優秀な選手で、同窓生として誇らしく思って

います。兄の正文さんは平成23年3月11日の東日本大震災での津波により犠牲になられました。ご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様へ心よりお悔みを申し上げます。

寮での生活は決して楽しいとは言えず、朝6時起床ですぐに部屋・洗面所の掃除、朝の自習・朝食、夕方は食事後の自習、9時の舎監の先生による点呼がありました。俗に言うところの夜遊びができず、正に品行方正を3年間通したといったところです。

舎監の先生は、当時舎監長に安藤野球部長(土木科長)・伊東野球部監督(倫理の先生)・その他数名の先生がおられ、中間・期末テストが終わるたびに舎監室に寮生全員の成績表・席次を貼り、プレッシャーを与えられました。朝・夕の自習時には決して漫画や週刊誌を読ませないよう、勉強するのを強制していたように感じたものです。

そのおかげで、成績は皆がそれなりにいい方でした。昼食も寮へ食べに戻り、お婆さんが作ってくれた豚汁がすごくおいしく、いつも楽しみにしていたのを思い出します。

3年生の4月になると就職活動が始まり、当時は戦後の高度成長の真っただ中でもあり、大手企業からの求人も多く、正に就職は引く手あまたの状況でした。私達のクラスでは大学進学者を除く就職希望者の内、公務員が2割・民間企業が8割で圧倒的に民間志向でした。私はインフラの計画・設計業で社会に役立とうと決心し、大手建設コンサルタント会社へ就職しました。

## (4) 会社勤務の思い出

私は入社してすぐ仙台支社勤務となり、道路部門に配属されま

した。2年間の仙台支社勤務の後、東京にある短期大学(夜間2年の土木単科)に入学すると同時に東京本社へ転勤させてもらいました。会社は信濃町にあり、学校がある五反田までは1時間程度かかるため、4時には会社を早退させてもらい、5時半からの授業に間に合うよう通いました。

私が担当している業種の客先はすべて官庁のため、年度末の忙しい時には授業終了後たびたび会社に戻り残業し、雑魚寝をしたものでした。3年間の本社勤務の後、仙台支社時代の上司に再び呼び戻されました。

東北全域の高速道路・国道・県道の計画設計に19年間従事した後、横浜支社へ転勤し、神奈川・静岡での業務に8年間従事しました。そして、平成10年7月に約30年間勤務した会社を退社しました。

その後、数社を渡り大阪に勤務したこともあります。現役最後は千葉市の自宅から横浜鶴見にある会社に片道2時間かけ通勤し、平成21年9月の満60歳で定年退職しました。

嘱託で残る道もありましたが、通勤片道2時間は辛く断念しました。

## (5) おわりに

私のこれまで62年の人生は決して順風満帆ではなく、むしろ苦労の方が多かった気がしております。挫折せずこれまで生活してこられたのは秋工魂のおかげと思っています。今後は秋工同窓生との懇親を深め、さらに母校・秋田県の発展に、幹事として少しでも役に立てるよう頑張っていく所存ですので、皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

安全・快適な生活空間の創造に尽くします。

**道路建設コンサルタント**

**船木技術士事務所**

所長 **船木 整** (昭和43年土木科卒)

技術士(建設部門)

(公社)日本技術士会会員 (公社)土木学会会員

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森2-1-3  
TEL/FAX: 043-206-1728 E-Mail: hitoshi.f@cnc.jp

地元密着の総合建設業

**彩光建設株式会社**

SATA Construction Group

代表取締役 **千葉 弘敏**  
常務取締役 **下總 勉** (昭和47年建築科卒)

〒330-0842 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-257  
電話 048-647-3155 FAX 048-647-3370  
E-mail tsutomu-shimofusa@saikoukensetsu.co.jp

直営工場からオーダー家具・店舗什器をお届けする中央建装が

**関東営業所を開設しました**

**株式会社 中央建装**  
商業施設・住宅・設計・監理・施工

代表取締役 **佐藤 正弘** (昭和46年 建築科卒)

■秋田事務所 秋田県秋田市寺内後城22-2  
TEL.018-847-4051 FAX.018-847-4052  
■関東営業所 神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷2丁目7-4グランドハイツ梶ヶ谷A東103号  
TEL.044-948-7571

**サエ** 土木建設資材・機械 販売  
建設機械器具 レンタル・リース

**斉 勇 株式会社**

代表取締役社長 **斉藤 哲** (昭和53年機械科卒)

〒010-1431 秋田市仁井田二ツ屋一丁目11-41  
TEL. 018-839-7111  
FAX. 018-839-3442

**航空機関連から  
生産設備の製造**

Dynamic Function **株式会社 三栄機械**  
JIS Q 9100 認証取得 (本社工場製造部) 代表取締役会長 **細矢 育夫**  
(昭和31年機械科卒)

〒015-0051 秋田県由利本荘市川口家妻146-3  
TEL.0184-23-1094